

鹿児島、宮崎、熊本の3県をつなぐ肥薩線。  
今年 11 月 21 日に全線開通 100 周年を迎えます。  
経済産業省の近代化産業遺産群にも認定されている肥薩線沿線には、  
100 年を超えて歴史を刻む貴重な駅舎や、風景が残っています。  
列車に乗って、肥薩線の歴史を感じる旅に  
出かけてみませんか。

# 肥薩線全線開通 100周年

# のんびり ゆったり楽しむ 肥薩線の旅

## 肥薩線とは

鹿児島（隼人駅）〜熊本（八代駅）を結ぶJR九州の鉄道路線。昭和2年に現在の鹿児島本線が開通するまでは、現在の肥薩線が鹿児島本線でした。

明治34年、鹿児島を起点に国分（現在の隼人駅）までの区間が開業し、明治36年には吉松まで開通しました。熊本側からは明治41年に八代〜人吉間が開通。険しい峠を越える人吉〜吉松間もスイッチバックや、山を旋回するループ線といった当時の最先端技術を駆使して明治42年に開通し、鹿児島（隼人駅）〜熊本（八代駅）を結ぶ全線が開通しました。

球磨川に沿って走る八代〜人吉間は川線、人吉〜隼人間は山線と呼ばれ、車窓からは美しい景観を楽しむことができます。



## 嘉例川駅



嘉例川駅 名誉駅長  
福本 平さん

明治36（1903）年、横川（現大隅横川）〜吉松間の開業に合わせて建てられた、今年で築106年の駅。開業当時の姿をそのまま残す木造平屋建ての駅舎は、国の登録有形文化財に登録されています。

待合室のいすに腰掛け、駅を見に次々と訪れる観光客に、肥薩線の歴史や見どころを鹿児島弁でユーモアたっぷりに語る

「のは、嘉例川駅名誉駅長 福本平さん（84歳）。写真撮影にも気軽に応じる人気者です。観光客を見送るときは、「またおじゃったもんせ」と声をかけます。「肥薩線は、スイッチバック、線路沿いの風景、古い駅舎、人とのふれあいの魅力です」と福本さん。嘉例川駅の「一番好きなお弁当をたずねると、「改札口」と即答。「この駅から出兵し、復員した私にとって、この改札口は人生の玄関口です」

地域の方が一生懸命育てたおいしい野菜を使い、100年前にも食べられていたお弁当の味を想像して献立を考えました。中身や、味付け、包装など、いろんな方の意見を聞いて、みんなで作り上げた、一つひとつ手作りのお弁当です。お客さまに「おいしい」と言ってもらえることはもちろんですが、お弁当が有名になり、お弁当作りにかかわった方々が喜んでくださることが嬉しいです。

ぜひ駅に来て、実家に帰ったような落ち着いた懐かしい雰囲気味わってほしいし、お弁当を食べて、お母さんの味を思い出してもらいたいです。



森の弁当やまだ屋  
山田 まゆみさん

## 名物駅弁 /

地元の野菜をたっぷり使い、嘉例川駅をイメージして作られた駅弁。「百年の旅物語 きれいな川」。素朴で懐かしい味わいが大人気で、第4回と第5回の九州の駅弁ランキングで1位を連続受賞しました。

- 価格 / 1,050円（税込）  
※2日前までに引換券をご購入ください。
  - 引換券販売場所 / JR九州の駅みどりの窓口、駅旅行センター、JR九州旅行支店
  - 引換場所 / 「はやとの風」車内
- 土日は嘉例川駅でも販売（数量限定）。それ以外は予約が必要です。  
（月曜日、11/21・22は販売がありません）





# のんびり ゆったり楽しむ 肥薩線の旅

## 霧島温泉駅

霧島市牧園町に建つ、霧島温泉駅。毎週日曜日の午前中、ホームには、はやとの風を送る3歳の名誉駅長 山下琳太郎くんのかわいい姿があります。また、土曜・日曜は霧島温泉駅地域振興会の皆さんによるお茶のサーブスも。今年の8月から、地元の食材を使った手作りのお弁当「竹ん皮温泉おにぎり弁当」(700円)と肥薩線全線開通100周年を記念したおにぎり(2個入り100円)の販売も始まりました。

駅近辺に住む地元の方々で結成された霧島温泉駅地域振興会では、駅を気持ちよく、楽しく利用できるようと、毎日の清掃や駅構内での地元特産品の販売、駅舎内の手打ちそばのお店「停車場馬」の運営など、駅の活性化に取り組んでいます。



## 大隅横川駅

大隅横川駅は、霧島市横川町に悠然と建ち、開業から106年の歴史を伝えています。国の登録有形文化財である木造平屋建てのこの貴重な駅舎



名誉駅長のかわいらしい姿と、地元の方の心温まるおもてなしに、いやされます。

竹ん皮温泉おにぎり弁当(700円)  
【問い合わせ先】ぼっぼや0995(76) 0133



土曜日、日曜日は、午前10時ごろから駅舎内で「元祖横川げたんは」の販売も行われます。肥薩線開業当時の味を再現し、げたんは発祥の伝統を守っていくために、福島年子さん、志水ヒロ子さんが2人で始めたそうです。黒糖の甘みがしみこんだ、手作りの素朴な味は、駅舎を見に訪れた観光客や、地元の方からも好評です。



© TRY.co



大隅横川駅 名誉駅長  
池田 哲男さん

には、緑に囲まれた静かな佇まいからは想像しがたい、激しい戦争の傷跡が残っています。

駅の近所に住む、大隅横川駅名誉駅長の池田哲男さん（79歳）は、昭和20年7月、空襲を経験した1人です。当時、駅舎の壁は空襲で受けた銃弾の跡で穴だらけだったそうです。池田さんは、駅を訪れる観光客や、地元の小中学生に戦争の語り部として当時の様子を話し、大隅横川駅とともに平和の大切さを伝えていきます。

「幼少時代からこの駅を見て育ち、通学にも利用しました。愛着のあるこの駅に少しでも恩返しができたら、との思いで名誉駅長を引き受けました」と池田さん。

駅を通じた人との出会いも魅力です。「戦時中に衛生兵としてこの駅で空襲を経験したという北海道の方から、駅が当時のまま残っていることを知り、懐かしく嬉しかったという手紙をもらった時は、本当に嬉しかったです」と優しい笑顔で話してくださいました。

## 吉松駅

吉松駅は、八代方面へ向かう肥薩線上で鹿児島最後の駅です。ここで、はやとの風からしんべい号に乗り換えます。

吉松は肥薩線と吉都線きつとが乗り入れており、鉄道の町として栄えてきました。駅舎に並んで建つ鉄道資料館には吉松駅の歴史はもちろん、運行に必要なさまざまな器具や機械、各種模型などが展示されています。また、観光SL会館では、懐かしの鉄道グッズのほか、地元の特産品や、手作りの加工品を販売しています。隣の広場には、肥薩線を走っていたC55型SLの実物が展示されていて、自由に見学できます。



© TRY.co



鉄道資料館



C55型SL